

請願採択！

沖縄 辺野古新基地工事に反対する意見書を提出！
～生活者ネットワークが仲介した市民請願により実現しました～

「辺野古の新基地工事の即時中止」「辺野古問題を沖縄のみに解決を迫るのではなく、国民的な議論により解決の道を探ること」の二つを求め国に意見書を出してほしい、という請願が提出されました。

基地が集中する沖縄について、映画上映などを通じて問題提起する活動を続ける市民が中心となって動きました。生活者ネットのさとう悦子がパイプ役となり、筆頭紹介議員を平野ひろみが務め総務委員会での審査に臨みました。

当初は請願の紹介議員に入っていなかったフォーラム小平も、審査での質疑を経て賛成し、請願が採択され、意見書も可決となったものです。継続審査を求める意見もありましたが、環境破壊がすすむなか一刻も早く小平市議会からの意見書を政府と関係機関に届けるため、多数決での結論となりました。



3月議会質問

一般質問

平野ひろみ

◆障がいのある人が地域で安心して暮らすための生活支援拠点について

◆ケアラー、介護する人を社会で支えるしくみをつくる

日向みさ子

◆子どもがのびのびと育つまち小平のために保育の質を地域全体でささげよう

さとう悦子

◆小平市の空き家の管理と利活用について

◆小平市民が健康に暮らすために

山崎とも子

◆子どもたちが自分らしく過ごせる学童保育へ

◆安心・安全でより快適に自転車を乗りこなそう

代表質問

日向みさ子

◆市民のための参加と協働の実現、対話の実践を

◆財政について市民への十分な情報提供と対話を

(仮称)第四次長期総合計画は

市民と行政の徹底対話でつくる

第四次長総の期間は2021年からの12年間です。この間に、団塊世代の高齢化のピークや人口減少の開始を迎える一方、駅前整備や公共施設の建替えなどもある難しい舵取りの時代となります。

計画は、生活者ネットが提案してきた無作為抽出による市民から希望者を募る市民ワークショップや市民モニター制度、参加を希望する公募市民が入る審議会、地域懇談会、パブリックコメントを経てつくられます。

対話のための十分な情報公開を行い、豊かな将来像を描けるよう求めています。

空家の活用で居場所をふやそう！

生活者ネットはかねてから空家や空室を使っての居場所づくりを提案しています。市内では市民の力で空家活用の居場所や子ども食堂が増えています。

市の空家等対策計画や提案型協働事業を活かして、引き続き居場所支援を求めています！

皆さまからのご質問、ご意見等をお待ちしています。



お問い合わせ先

◆生活者ネットワーク事務所
電話・FAX/042-342-4494
メール/kodaira@seikatsusha.net
◆議会事務局
住所/小平市小川町2-1333 (小平市役所7階)
電話/042-346-9566 (内線3012)